

令和5年度公立小学校における英語教育実施状況調査

※調査基準日は、指定がない場合、令和5年12月1日現在としてお答えください。

※本調査は、公立小学校、義務教育学校の前期課程を対象とします。

※特別支援学校及び特別支援学級は対象外とします。

※分校がある場合は、本校と分校をまとめて1校とします。

1. 調査対象学校数

(単位：校)

学校数
18,560

2. 英語教育担当者の状況

2-(1) 英語担当教師数

第3～6学年の英語の授業について、担当する教師数（延べ人数）を記入してください。なお、複数の教師で授業を行っている場合は全ての教師についてカウントしてください。

例：

①第3・4学年の例

- 3年1組...担当：学級担任
- 3年2組...担当：3年1組の学級担任（授業交換）
- 4年1組...T・T 主担当：専科教師等，副担当：学級担任
- 4年2組...T・T 主担当：専科教師等，副担当：学級担任

※上記の状況で実施の場合、表中では、以下の記載になります。

第3・4学年は「学級担任」の欄に「3」、「授業交換」の欄に「1」、専科教師等の欄に「2」と回答（延べ人数のため）。

②第5・6学年の例

- 5年1組...担当：学級担任
- 5年2組...担当：5年1組の学級担任（授業交換）
- 6年1組...担当：専科教師等
- 6年2組...担当：専科教師等

※上記の状況で実施の場合、表中では、以下の記載になります。

第5・6学年は「学級担任」の欄に「1」、「授業交換」の欄に「1」、専科教師等の欄に「2」と回答（延べ人数のため）。

※「専科教師等（当該小学校所属教師）」とは、外国語教育のみを担当する教師のほか、学級担任となっていない教師で外国語教育を担当する教師をいいます。

※「特別非常勤講師」とは、教育職員免許法第三条の二第一項の規定に基づき任用されている非常勤講師をいいます。

※複式学級の場合、学年ごとにカウントしてください。

※特別支援学級は含めません。

	第3・4学年	第5・6学年	計
英語教育担当教員数 (延べ人数)	82,997 人	80,478 人	163,475 人
学級担任	50,375 人	38,064 人	88,439 人
同学年他学級担任・他学年 学級担任（授業交換）	8,120 人	8,397 人	16,517 人
専科教師等 (当該小学校所属教師)	16,620 人	20,799 人	37,419 人
他小学校所属教師	3,568 人	6,906 人	10,474 人
中・高等学校所属教師	623 人	1,825 人	2,448 人
非常勤講師	3,177 人	4,075 人	7,252 人
特別非常勤講師	514 人	412 人	926 人

3. 英語を使用する機会に関すること

3-(1) 授業における、児童の英語による言語活動の割合

第5学年について、1年間の授業を通して、児童が英語で言語活動をしている時間の占める割合（％）について当てはまるものを選択してください。欠学年の場合は、「欠学年」を選択してください。

※特別支援学級は含めません。

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。

（学習指導要領解説 付録8参照）

【聞くことの例】自分のことや学校生活など、身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結びつける活動。

【読むことの例】活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。

【話すこと [やり取り] の例】日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。

【話すこと [発表] の例】簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をする活動。

【書くことの例】文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動。

（単位：校）

授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	欠学年
10,170	7,190	1,025	63	112

3-(2) 授業における、児童の英語による言語活動の割合

第6学年について、1年間の授業を通して、児童が英語で言語活動をしている時間の占める割合（％）について当てはまるものを選択してください。欠学年の場合は、「欠学年」を選択してください。

※特別支援学級は含めません。

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。

（学習指導要領解説 付録8参照）

【聞くことの例】自分のことや学校生活など、身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結びつける活動。

【読むことの例】活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。

【話すこと [やり取り] の例】日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。

【話すこと [発表] の例】簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をする活動。

【書くことの例】文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動。

（単位：校）

授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	欠学年
10,369	7,097	953	44	97

3-(3) 言語活動の内訳

第5学年について、上記の項目を10としたとき、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」及び「書くこと」にかかる時間の割合を0~10で回答してください。

（※「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」全体で10とした場合）

	「聞くこと」	「読むこと」	「話すこと [やり取り]」	「話すこと [発表]」	「書くこと」
割合	2.71	1.32	2.93	1.86	1.19

3-(4) 言語活動の内訳

第6学年について、上記の項目を10としたとき、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」及び「書くこと」にかかる時間の割合を0~10で回答してください。

（※「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」全体で10とした場合）

	「聞くこと」	「読むこと」	「話すこと [やり取り]」	「話すこと [発表]」	「書くこと」
割合	2.58	1.35	2.77	1.94	1.36

3-(5) 「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」を評価するためのパフォーマンステストの状況

第5学年でパフォーマンステストを本年度実施した、あるいは本年度中に実施する計画がありますか。実施した場合、次の項目について実施回数を記入してください（実施予定を含みます）。実施しておらず本年度中の実施計画もない場合は、次の項目に0を記入してください。

※実施回数とは、当該学年の児童全員を対象としたパフォーマンステストの回数を指します。

（単位：回）

	実施回数（実施予定を含む）話すこと [やり取り]	実施回数（実施予定を含む）話すこと [発表]	実施回数（実施予定を含む）合計
回答	73,723	66,546	140,269

3-(6) 「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」を評価するためのパフォーマンステストの状況

第6学年でパフォーマンステストを本年度実施した、あるいは本年度中に実施する計画がありますか。実施した場合、次の項目について実施回数を記入してください（実施予定を含みます）。実施しておらず本年度中の実施計画もない場合は、次の項目に0を記入してください。

※実施回数とは、当該学年の児童全員を対象としたパフォーマンステストの回数を指します。

（単位：回）

	実施回数（実施予定を含む）話すこと [やり取り]	実施回数（実施予定を含む）話すこと [発表]	実施回数（実施予定を含む）合計
回答	69,453	80,586	150,039

3-(7) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握のそれぞれについて、行っている場合は「はい」を、そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

※「『CAN-DOリスト』形式による学習到達目標」とは、英語を使って実際に何をすることができるようになるのか、その能力を領域別に記述したものを指します。

※「公表している」とは、一覧表にした学習到達目標の児童への配布、単元で使用するワークシートの形式での児童への配布、「学校だより」での紹介、学校のホームページへの掲載等の方法で、児童、保護者等と共有されている状態のことを指します。

■児童と共有している例：

- ①年度当初の英語の授業（オリエンテーション）で、学習到達目標等を配付し、学期ごとやこの1年間では何ができるようになればよいかを児童と共有する。
- ②単元の第1時に単元の課題を設定し、この単元では何ができるようになればよいかを児童と共有する。
- ③単元で使用するワークシート形式で児童に示す。
- ④児童が到達状況を把握するために振り返り等で活用する。等

■保護者や地域の方と共有している例：

- ①「学校だより」で紹介する。
- ②学校のHPへ掲載する。等

※「達成状況を把握している」とは、一覧表やワークシートの形式等で児童に配布した「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標をもとに、学年末、学期末、単元内等で評価を行い、学習到達目標を達成しているかどうかを教師が把握していることを指します。

（単位：校）

	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している	学習到達目標を設定している場合において、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している	学習到達目標を設定している場合において、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の達成状況を把握している
実施の有無	15,674	10,797	13,898

4. 小学校教師の英語力に関すること

4-(1) 小学校教師の英語免許所有者

小学校を設置している場合、以下の※に該当する小学校教師の数（調査対象教師数）と、そのうち英語免許状を所有する教師数を、それぞれ記入してください。

※調査対象の教師は、調査基準日時点において小学校に所属している教師（臨時的任用の者及び非常勤講師は除く。）です。

※小学校外国語活動及び教科としての外国語を担当するために、中学校、高等学校から来ている英語担当教師は除きます。

※「英語免許状」とは、中学校・高等学校の臨時免許状及び特別免許状を含みます。

（単位：人）

	人数
調査対象教師数	349,240
小学校教師の英語免許所有者	25,040

4-(2) 小学校教師の英語力の状況

調査基準日時点において小学校に所属し、第3～6学年で英語の授業を行っている教師（臨時的任用の者及び非常勤講師は除く）のうち、英語能力に関する外部試験を受験してCEFR B2レベル相当以上を取得している教師数を回答してください。

※調査対象は、調査基準日時点において、小学校に所属している教師です。

※小学校の英語の授業を担当するために、中学校、高等学校から来ている英語担当教師は除きます。

※専科教師については、本務校で回答してください。

※「英語能力に関する外部試験」の結果が、「CEFR B2レベル相当（英検準1級など）以上」に当たるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

	対象教師数	対象教師数のうち、CEFR B2レベル相当以上を取得している教師数
人数	85,847 人	3,683 人

5. 外国語指導助手（ALT）等の授業への参画状況

5-(1) 外国語指導助手（ALT）等の人数

小学校で学校独自に授業への協力を得ているALT等の人数を回答してください。

※「学校独自に授業への協力を得ているALT等」とは、ネイティブスピーカーや英語が堪能な地域人材で、「JETプログラム」「自治体が独自に直接任用しているALT」「派遣契約」「請負契約」「補習等のための指導員等派遣事業」に該当しない者を指します。

※各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられますが、本調査における「外国語指導助手（ALT）等」とは、英語の授業などで計画的・継続的に参画している者を指します。英語以外の外国語を担当する者は含めません。

※人数は、年間の契約人数の総数ではなく、調査基準日時点での人数を回答してください。

※「小学校におけるALT等人数」とは、中学校、高等学校等と兼務している人数を含みます。同一ALT等が2校以上の小学校に参画している場合は、いずれか1つの学校で1名とカウントします。

※日本人とは、第一言語を日本語とする者とし、外国人とは、第一言語を日本語としない者とし、

※該当するALT等がない項目は0と記入してください。

(単位：人)

	人数
JETプログラムによるALTの人数	2,616
自治体が独自に直接任用しているALTの人数	2,735
派遣契約によるALTの人数	4,048
請負契約によるALTの人数	334
上記の他、「補習等のための指導員等派遣事業」のうち、小学校における英語の授業に参画している人数	687
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている日本人のALT等	769
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている外国人のALT等	662
合計	11,851

5-(2) 英語の総授業時数における、ALT等の授業への参画状況

第3・4学年の英語の総授業時数（計画値）の中で、ALT等が参画する授業時数の割合（％）として当てはまるものを選択してください。

※英語の総授業時数には、教育課程内として、モジュール学習（10分、15分などの時間を単位として取り組む学習）で教科としての外国語等を設定している場合も含まれます。「総合的な学習の時間」や「特別活動」において英語に触れる時間は含めません。

※1単位時間は45分として計算してください。単位時間の計算によって生じた小数点以下は、全て切り捨てて計算してください。

※割合の算出に当たり、計算した結果によって生じた小数点以下は、全て切り捨ててください。

※学校全体の時数で記入してください。

※第3・4学年の片方のみが欠学年の場合は、在籍者がいる学年について回答してください。

(単位：校)

75～100%	50～74%	25～49%	1～24%	0%	第3・4学年ともに欠学年
10,309	3,282	2,856	1,631	428	54

5-(3) 英語の総授業時数における、ALT等の授業への参画状況

第5・6学年の英語の総授業時数（計画値）の中で、ALT等が参画する授業時数の割合（％）として当てはまるものを選択してください。

※英語の総授業時数には、教育課程内として、モジュール学習（10分、15分などの時間を単位として取り組む学習）で教科としての外国語等を設定している場合も含まれます。「総合的な学習の時間」や「特別活動」において英語に触れる時間は含めません。

※1単位時間は45分として計算してください。単位時間の計算によって生じた小数点以下は、全て切り捨てて計算してください。

※割合の算出に当たり、計算した結果によって生じた小数点以下は、全て切り捨ててください。

※学校全体の時数で記入してください。

※第5・6学年の片方のみが欠学年の場合は、在籍者がいる学年について回答してください。

(単位：校)

75～100%	50～74%	25～49%	1～24%	0%	第5・6学年ともに欠学年
7,633	5,745	2,970	1,902	286	24

5-(4) ALT等の授業への参画の具体的状況

上記の第3・4学年のうち、ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

※第3・4学年の片方のみが欠学年の場合は、在籍者がいる学年について回答してください。

(単位：校)

第3・4学年	75%以上の授業で行った(行う)	50%以上75%未満の授業で行った(行う)	25%以上50%未満の授業で行った(行う)	1%以上25%未満の授業で行った(行う)	実施していない
教師とのやり取りを児童に示すやり取り・発表のモデル提示	14,090	2,758	795	383	52
パフォーマンステスト等の補助	5,318	2,165	1,779	1,968	6,848
児童のやり取りの相手	13,150	3,383	1,045	441	59
発音のモデル・発音指導	15,809	1,421	469	333	46
児童の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	7,253	3,979	2,699	2,105	2,042

5-(5) ALT等の授業への参画の具体的状況

上記の第5・6学年のうち、ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

※第5・6学年の片方のみが欠学年の場合は、在籍者がいる学年について回答してください。

(単位：校)

第5・6学年	75%以上の授業で行った(行う)	50%以上75%未満の授業で行った(行う)	25%以上50%未満の授業で行った(行う)	1%以上25%未満の授業で行った(行う)	実施していない
教師とのやり取りを児童に示すやり取り・発表のモデル提示	14,110	2,882	817	373	68
パフォーマンステスト等の補助	8,400	3,242	2,373	2,648	1,587
児童のやり取りの相手	12,910	3,729	1,146	416	49
発音のモデル・発音指導	15,585	1,736	540	308	81
児童の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	7,579	4,443	2,879	2,181	1,168

5-(6) ALT等の授業外での活動状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

	週1回以上行った(行う)	月1回以上行った(行う)	半年に1回以上行った(行う)	年1回以上行った(行う)	実施していない
英語の授業以外の授業や学校行事での児童との交流	2,123	2,417	3,390	2,568	8,053
一定の目的を持った授業外での教育活動(例：クラブ・委員会、希望する児童に対する個別指導、異文化理解のための学習)	917	1,588	1,843	1,832	12,370

6. 英語の授業におけるICT機器の活用状況（令和5年度）

6-(1) 以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

（単位：校）

	75%以上の授業 で実施した（す る）	50%以上75%未 満の授業で実施 した（する）	25%以上50%未 満の授業で実施 した（する）	1%以上25%未 満の授業で実施 した（する）	実施していない
児童が学習者用デジタル教科書を 活用した授業	5,691	2,216	2,823	4,513	3,317
児童がデジタル教材等（デジタルド リルや動画等のコンテンツ）を活用し た授業 ※学習者用デジタル教科書は含まな い	4,191	2,853	3,488	4,070	3,958
児童が1人1台端末を活用した授 業	4,471	4,700	5,226	3,496	667
児童が1人1台端末・パソコン等を用 いて発表や話すことにおけるやり取り をする活動	2,613	4,075	5,410	4,395	2,067
児童による、発話や発音などの録 音・録画	1,049	2,111	4,017	5,740	5,643
児童がキーボード入力等で書く活動	1,213	2,100	3,835	6,148	5,264
児童が電子メールやSNS、チャットを 用いたやり取りをする活動	118	164	337	1,219	16,722

6-(2) 以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

（単位：校）

	週1回以上行っ た（行う）	月1回以上行っ た（行う）	半年に1回以上 行った（行う）	年1回以上行っ た（行う）	実施していない
児童が遠隔地の児童等と英語で話 をして交流する活動	52	91	647	1,600	16,170
遠隔地の教師やALT等とチーム・ ティーチングを行う授業	44	92	347	810	17,267
児童が遠隔地の英語に堪能な人と 個別に会話を行う活動	26	62	268	614	17,590